

【目的】

認知症の人が住み慣れた地域で暮らし続けられるように、認知症の人やその家族に初期に訪問等で直接関わり、早期診断、早期対応に向けた支援体制を構築する。
 （「初期」とは認知症初期」と「対応初期」の意味を持ちます）

【対象】

- ① 40 歳以上、在宅生活、認知症（疑いも）の人で、適切な医療や介護に結びついていない人
- ② 医療や介護を受けているが、認知症の行動・心理症状が顕著なため対応が困難な人

【体制】

- ・ 直営とし、市地域包括ケア課が事務を担当
- ・ 6 か月間をめぐりに集中的に関わり、医療や介護サービスにつなぐ
- ・ チーム員による身体的ケア、環境整備等の直接支援を行うことが可能
- ・ 力を尽くしても受診できないような場合はチーム支援が有効

【チーム員】

① 認知症サポート医

いしかり脳神経外科クリニック 橋本透先生
 石狩ファミリアホスピタル 河合剛多先生

各場面で必要に応じ専門職に助言、本人への診察、訪問、主治医との連絡

② 医療職と介護・福祉職のペア

地域包括ケア課、地域包括支援センター
 認知症地域支援推進員、精神科病院看護職・福祉職

支援対象者に合った機関・職種・人員を検討し、2 名以上でチーム員を構成

【認知症初期集中支援チーム検討委員会】

- ・ 年 1 回開催、石狩市介護保険事業運営推進協議会をあてる
- ・ 協議事項：チーム運営状況の報告、改善策の検討など

令和 3 年度 認知症に関する相談および認知症初期集中支援チーム実績

	件数・人数	相談受理機関				
		南	花川中央	北	厚田	浜益
認知症の相談延件数	621 件	177 件	115 件	281 件	34 件	14 件
チーム支援対象実人数	76 人	26 人	17 人	30 人	2 人	1 人
チーム支援検討実人数	7 人	3 人	1 人	3 人	0 人	0 人
チーム支援実人数	2 件	0 人	0 人	2 人	0 人	0 人
前年度からの継続実人数	なし	なし	なし	なし	なし	なし

【評価】

- ・ 認知症に関する相談のほとんどは、総合相談として地域包括支援センターが対応し、解決に当たっている。
- ・ チーム員によるアセスメントにより、本人の認知機能と生活機能、心理・行動症状、在宅生活における困難の度合い、介護者の負担等を総合的に評価でき、支援計画に反映することができた。
- ・ 受診困難ケースには、認知症サポート医の訪問が効果的であった。本人も医師の助言を好意的に受け止め、介護認定申請が可能になるなどその後の支援が進む大きな要因となった。
- ・ 今後も認知症の人や家族にとって適した手法で支援を行い、チーム支援導入についても積極的に検討していく。